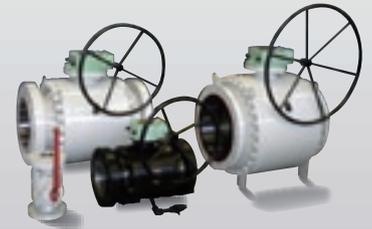


Spain

**3ピース・トラニオンボールバルブ**

主に天然ガス、石油精製・化学プラントなどで使用される大型のバルブで、欧州のグループ会社 KITZ Corporation of Europe, S.A. (スペイン) で2010年9月に発売されました。



China

**株主の皆様へ**

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、キッツグループの事業に対してご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当中間期決算の概要についてご報告申し上げます。

当中間期の国内経済は、東日本大震災の影響や電力供給の制約により設備投資や個人消費が依然として低迷し、また、歴史的な円高の進行により輸出企業が大きな打撃を受けることとなりました。海外経済は、アジア諸国は堅調な成長を継続しておりますが、米国の景気減速懸念とギリシャの財政問題に端を発した欧州の財政や金融問題などから、先行き不透明な状況となりました。

このような国内外の経済環境の中、連結売上高は、キッツグループの主力であるバルブ事業が国内外の市場で増収、伸銅品事業も市況の上昇などで増収となり、前年中間期比9.8%増の563億53百万円となりました。

しかし損益面では、連結営業利益は、原材料価格の上昇、価格競争の激化や円高の影響による販売価格の下落、海外市場における大型プラント向けの一部製品の採算悪化などで、同16.2%減の23億44百万円となりました。また、連結経常利益は同18.2%減の21億18百万円、連結純利益は同18.2%減の10億73百万円となりました。

先行き不透明な国内外の経済状況の中で、キッツグループの事業環境は今下期も厳しい状況が予想されるため下期及び通期業績の見通しを一部下方修正させていただいております。株主の皆様には、何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、キッツグループは、「真のグローバル企業への進化」を目指し、企業価値の持続的な向上を図り社会に貢献できるよう、全社員一丸となって積極果敢にチャレンジしてまいります。

2011年12月

代表取締役社長  
堀田 康之**KITZ**

## 連結営業概況

### バルブ事業



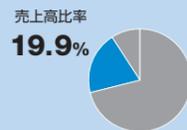
売上高は402億85百万円となりました。国内販売は前年中間期比7.0%増の274億40百万円、海外販売は同19.5%増の128億44百万円となり、国内外ともに増収となりました。

国内販売では、東日本大震災の影響により、復興に伴う建築設備向けバルブの需要の拡大が予想されたため、受注が一時増加し、また、緊急対応のための上下水道用のバルブの売上が増えました。さらに、半導体などの装置やプラント向けバルブも増収となりました。

海外販売では、ヨーロッパは市場の低迷で減収となりましたが、アジアは昨年に引き続き中国や東南アジア向けが堅調に推移し、北米も石油精製・石油化学向けの需要の改善により増収となりました。

一方、セグメント別営業利益は、増収効果や原価低減活動による増益効果はありましたが、国内外の価格競争により市況が下落したことや原材料高などが大きく影響しました。また、海外向けの大型プラントに使用されるバルブの採算が悪化したこともあり、当中間期のセグメント別営業利益は同11.1%減の31億88百万円となりました。

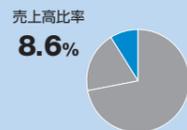
### 伸銅品事業



売上高は、銅相場の高騰に伴う市況の上昇により前年中間期比15.1%増の112億3百万円となりました。

セグメント別営業利益は、期末にかけて銅相場が下落したことで棚卸在庫の評価減が発生したことなどにより、同32.8%減の1億95百万円となりました。

### その他



売上高は、総合スポーツクラブの運営を行うフィットネス事業において、東日本大震災により営業を一時停止していた仙台店と水戸店が6月から営業全面再開となったことや、ホテル事業の震災直後に団体予約の大量キャンセルが発生したことなどにより、前年中間期比6.5%減の48億65百万円となりました。

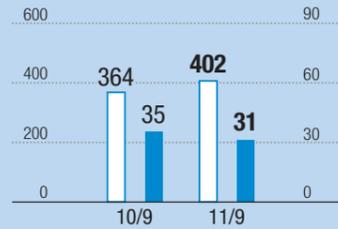
セグメント別営業利益は、フィットネス事業において、昨年オープンした店舗の収益改善効果と販促費用や節電などの経費削減効果が寄与し、同8.8%増の3億3百万円となりました。

## セグメント別売上高・営業利益

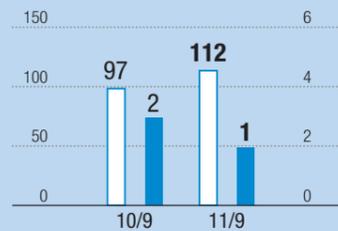
(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
■ 営業利益(右軸)

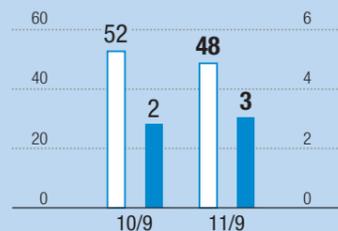
### バルブ事業



### 伸銅品事業



### その他



## 財務データ

### 主要連結財務指標

(単位：百万円)

	2007年 中間期	2008年 中間期	2009年 中間期	2010年 中間期	2011年 中間期
売上高	76,009	70,837	46,165	51,344	56,353
営業利益	6,032	4,642	2,957	2,796	2,344
経常利益	5,651	4,269	2,567	2,589	2,118
純利益	3,410	2,484	1,186	1,313	1,073
総資産	112,793	110,334	97,167	94,507	99,932
自己資本	53,938	53,163	51,627	52,506	52,779

### 今期経営計画

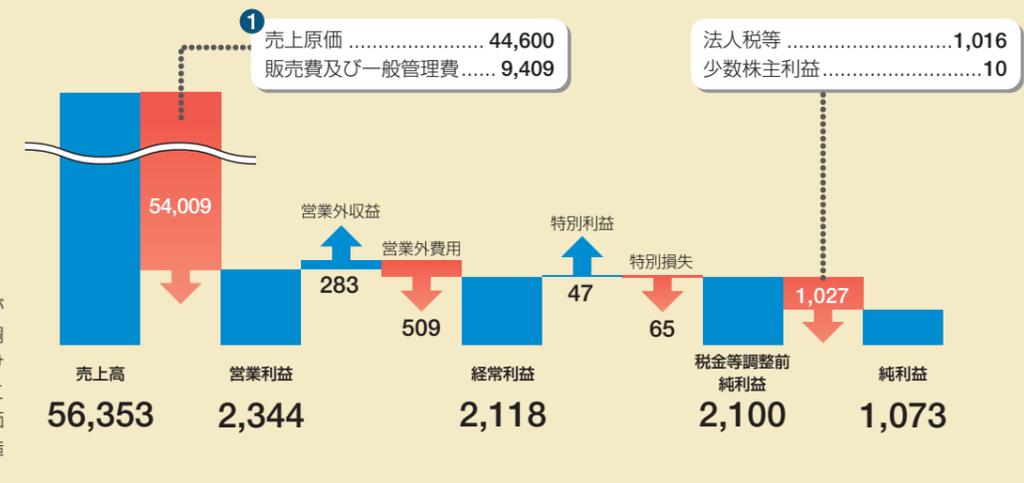
(単位：百万円)

連結	2010年度 実績	2011年度計画 (10月31日公表)	単体	2010年度 実績	2011年度計画 (10月31日公表)
	売上高	106,059		109,000	売上高
営業利益	6,341	5,200	営業利益	2,568	1,900
経常利益	5,929	4,700	経常利益	2,914	2,200
当期純利益	3,063	2,800	当期純利益	1,231	1,900

### 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

中間期 (2011年4月1日~2011年9月30日)



#### Point ①

##### 売上原価

バルブ事業で一部の製品が不採算となったことや、伸銅品事業で当中間期末にかけて銅価が急激に下落したことにより、たな卸資産の評価減を計上したことで、製造コストが増加いたしました。

#### Point ②

##### 負債

負債については、借入金の返済や法人税等の納付による未払法人税等が減少したことなどにより、前期末に比べ、約4億円減少いたしました。

#### Point ③

##### 純資産

純資産については、配当金の支払約4億円等がありましたが、当中間期の純利益約10億円により、前期末に比べ約2億円増加いたしました。

### 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

前期末 (2011年3月31日)		当中間期末 (2011年9月30日)		前期末 (2011年3月31日)		当中間期末 (2011年9月30日)	
現金及び預金	13,108	現金及び預金	11,938	流動負債	26,521	流動負債	25,608
流動資産	52,036	流動資産	52,569	固定負債	20,184	固定負債	20,651
有形固定資産	35,027	有形固定資産	34,704	負債	46,705	負債	46,259
無形固定資産	2,172	無形固定資産	2,152	株主資本	55,622	株主資本	56,259
投資その他の資産	10,901	投資その他の資産	10,504	その他の包括利益累計額	△3,098	その他の包括利益累計額	△3,479
資産合計	100,138	資産合計	99,932	純資産	53,433	純資産	53,672
				少数株主持分	908	少数株主持分	892

## 経営トピックス ● ●

### 青黄銅製バルブの国内生産工場を統合

キッツグループでは、2012年1月1日付で、主に青黄銅製バルブの生産・販売を行うグループ会社の東洋バルヴ(株)を営業部門と生産・技術など営業以外の部門に分ける、会社分割を行います。この会社分割により、営業以外の部門がキッツに移管され、東洋バルヴ(株)は販売のみを行う会社として新たにスタートいたします。

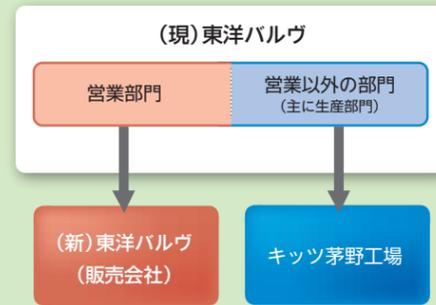
またグループ会社の三吉バルブ(株)は、青黄銅製バルブの生産を行う川越工場を2011年6月に閉鎖し、キッツに生産を移管いたしました。

これらの生産拠点の統合により、グループの基幹事業である青黄銅製バルブの生産を、国内ではキッツ、海外ではKITZ (Thailand) Ltd.の2拠点到集約し、設計部門をはじめとする重複業務の解消による経費削減や事業戦略の迅速な実行を図り、強固なグループ経営基盤を確立してまいります。



東洋バルヴ(株) 茅野工場

### ● 東洋バルヴ(株)の会社分割イメージ



### シンガポールに販売子会社を設立

キッツグループは、2011年10月、シンガポールに販売子会社「KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.」を設立いたしました。

2010年に発表した長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」では、「真のグローバル企業への進化」をスローガンに、海外重点エリアを3極+2拠点(3極:アジア・パシフィック、米州、欧州、2拠点:中国、インド)と定めております。今回設立したシンガポールの販売子会社は、重点エリアであるアジア・パシフィック地域に適した戦略を策定し、収益の拡大を進める上での重要な拠点となります。

今後もキッツグループでは、地域に密着した強固な販売ネットワークを構築し、企業価値の向上に努めてまいります。



## ネットワーク ● ●



### 【株式会社キッツ】

**工場**  
●長坂工場(山梨県) ●伊那工場(長野県)

**営業網**  
●札幌 ●仙台 ●さいたま ●千葉 ●横浜  
●茅野 ●新潟 ●富山 ●静岡  
●名古屋 ●大阪 ●岡山 ●広島 ●福岡

### 【国内グループ会社】

- ① 東京 ●株式会社キッツエスシーティー
- ② 千葉 ●三吉バルブ株式会社 ●株式会社キッツエンジニアリングサービス ●株式会社キッツウェルネス
- ③ 滋賀 ●株式会社清水合金製作所
- ④ 長野 ●東洋バルブ株式会社 ●株式会社キッツマイクロフィルター ●株式会社キッツメタルワークス ●株式会社ホテル紅や ●株式会社諏訪ガラス工房

### 【海外グループ会社】

- 生産拠点**
- A タイ(サムットプラカーン) ● KITZ (Thailand) Ltd. ● 台湾(高雄市) ● 台湾北澤股份有限公司
  - C 中国(江蘇省・昆山) ● 北澤精密機械(昆山)有限公司 ● 北澤閥門(昆山)有限公司 ● 北澤半導体閥門(昆山)有限公司 (江蘇省・連雲港) ● 連雲港北澤精密閥門有限公司 ● S スペイン(バルセロナ) ● KITZ Corporation of Europe, S.A. ● E ドイツ(ヘッセン州) ● Perrin GmbH
- 販売拠点**
- G 中国(上海市) ● 上海開滋国際貿易有限公司 ● G シンガポール ● KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. ● H インド(ムンバイ市) ● KITZ Corporation (India Liaison Office)
  - I U.A.E.(ドバイ酋長国) ● KITZ Corporation (Dubai Branch)
  - J アメリカ(テキサス州) ● KITZ Corporation of America
  - K イギリス(ギルフォード市) ● KITZ Corporation (UK Representative Office)

## 東日本大震災の影響 ● ●

東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



### キッツグループの被災状況

- | キッツ      | ● 仙台市にある東北支店では、事務所内に多少の被害はありましたが、翌週からは通常通りの業務を行っています。<br>● キッツのバルブ生産工場では、被災地から離れていることもあり、生産設備などに直接的な影響はありませんでした。サプライチェーンの関係で、外部調達をしている取引先様が被災され、一部の部品で当社への納品に遅れが出たものの、大きな影響はありませんでした。 |
|----------|---|
| キッツウェルネス | ● スポーツクラブを運営するグループ会社の(株)キッツウェルネスでは、水戸店及び仙台店の施設内が破損し、3月11日より一時休業いたしました。仙台店は4月17日よりスポーツ棟を、6月1日よりテニス棟を再開することで、全施設営業を再開しました。また水戸店でも、4月18日より順次施設を再開し、6月17日から全面営業を再開しています。                  |

### キッツグループの主な支援活動

キッツグループでは、被災者支援及び被災地復興のため、社員からの募金ならびに各社から義援金を、日本赤十字社を通して寄付いたしました。

	社員による募金	グループ各社による義援金	合計
キッツ及びキッツグループ	4,041,226円	19,182,898円	23,224,124円

キッツは、2010年5月よりアフリカの子供たちの給食を支援する活動「TABLE FOR TWOプログラム」に参加しています。

このプログラムは、社員食堂のヘルシーメニューを購入すると、1食につき20円が寄付金として、アフリカの学校給食運営費に活用される仕組みとなっておりますが、2011年4月1日より3ヶ月間、この寄付金を、東日本大震災で被災された方々に役立てていただきました。寄付金は、TABLE FOR TWO事務局を通じ、「TABLE FOR TWO + Tohokuプログラム」として、被災地である岩手県、宮城県、福島県に「食料品パッケージ(お米や乾麺、調味料などを詰めた箱)」を届ける活動に充てられています。

TABLE FOR TWO + Tohoku プログラムへの寄付金 109,080円 (20円/1食×5,454食分)

### 震災復興に貢献するキッツグループ商品のご紹介

キッツグループが製造しているバルブは、戸建・集合住宅や、ビルディング、病院、学校など、私たちの生活の身近なライフラインから、石油精製をはじめとする各種プラントなど産業用プロセスラインまで幅広い分野で使用されています。

キッツグループは、地震や津波の被害に遭った建物や設備の復旧に欠かすことのできないバルブを継続的に提供し、被災地の復興に貢献してまいります。



#### ● 青黄銅製バルブ

水や空気及び低圧の蒸気をコントロールする青黄銅製バルブは、住宅やオフィスビルの復興において、水道やガス、空調などの設備で使用されます。



#### ● ステンレス鋼製バルブ

広域にわたった今回の震災は、石油・化学プラントにも被害を及ぼしました。高温・高圧な流体をコントロールできるステンレス鋼製バルブは、こうしたプラントにおける設備のメンテナンスなどにも使用されます。

## 株式の状況

○ 発行可能株式総数 400,000,000 株

○ 発行済株式の総数 109,223,604 株

(注) 上記の株式の総数には、当社が2011年9月30日現在に保有する自己株式 11,172,907 株を含んでおりません。

○ 株主数 10,639 名

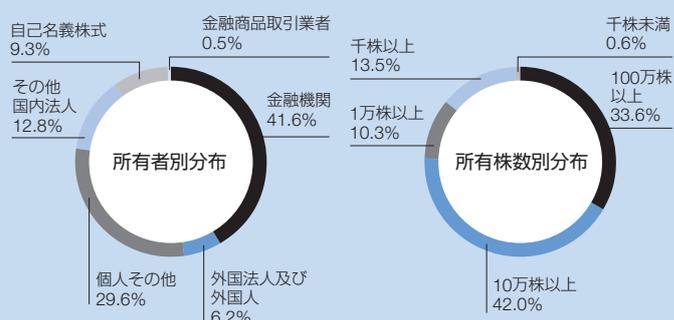
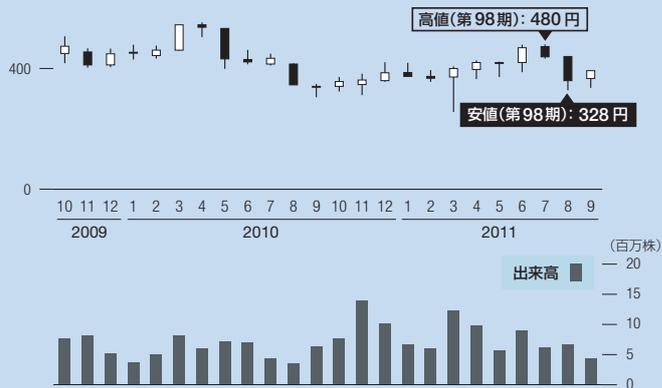
○ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	18,731	17.15
日本生命保険相互会社	4,781	4.38
資産管理サービス信託銀行株式会社	4,547	4.16
住友生命保険相互会社	3,611	3.31
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.12
北沢会持株会	3,061	2.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,916	2.67
キッツ取引先持株会	2,742	2.51
株式会社みずほコーポレート銀行	2,553	2.34
株式会社三井住友銀行	2,553	2.34

- (注) 1. 当社は、2011年9月30日現在、自己株式 11,172 千株を保有しており、上記大株主から除外しております。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。  
 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 18,731 千株  
 資産管理サービス信託銀行(株) 4,547 千株  
 日本マスタートラスト信託銀行(株) 2,916 千株
3. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口 266 千株及び特別勘定口 584 千株を含んでおります。
4. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 11,172,907 株を除いて計算しております。

## ○ 株価チャート

(円)  
800 —



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載 URL ( <a href="http://www.kitz.co.jp">http://www.kitz.co.jp</a> )
単元株式数	100 株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711(通話料無料)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 会社概要

商号

株式会社キッツ

本社

〒261-8577  
千葉県千葉市美浜区  
中瀬一丁目10番1  
TEL (043) 299-0111

代表取締役社長

堀田 康之

資本金

21,207,084,670円

設立年月日

1951年1月26日

従業員数(単体)

1,034人(2011年9月30日現在)

## 表紙の解説

### KITZ Corporation of Europe, S.A.

キッツグループは、最適地生産体制を構築するために、海外にも生産拠点を展開しています。スペインのバルセロナにあるKITZ Corporation of Europe, S.A.は鋳鋼製及びステンレス鋼製ボールバルブを製造・販売しています。1991年、現地のISO社を買収し、欧州市場への商品供給の拠点として事業を開始しました。今後も、同社のISOブランドは、キッツグループのブランドの1つとして、欧州はもとより世界で今まで以上に信頼いただけるよう成長してまいります。

